

富田英雄 氏（株式会社 富田製作所）ご略歴

代表取締役社長 富田英雄（と
みた ひでお）株式会社富田製作
所



【略歴】

1956年（昭和 31年）

東京都葛飾区生まれ・私立市川学
園中

学校卒業・ 1975年都立両国高校卒業

1981年

東京理科大学工学部機械科卒業（佐
藤金研・塑性工学）

1981年

東京地銅（株）入社（横浜刑務所でボールペン組立指導）

1982年 （株）富田製作所入社（生産技術・新技術開発・不動産買収担当）

1994年 （株）富田製作所 つくば工場 建設竣工 つくば工場長就任

2013年 学校法人 東京理科大学 評議員

2015年 学校法人 東京理科大学理窓会 「坊っちゃん賞」受賞

2016年 （株）富田製作所 代表取締役社長 就任

【ホームページへの富田英雄社長 挨拶文より】

お客様との暖かいご支援とご指導を賜り創業50年を経過することができました。創業以来板金
工作

を通じて、設備拡充、技術向上、管理充実を図ってまいりました。

21世紀も社員一丸となってお得意様を通じて社会に貢献したいと思います。厚板板金の分野で、お
得意

様とともにさらなる発展を図るため、継続と改善はもとより、21世紀のニーズにかなった新たな経
験へ

の挑戦に取り組み、技術研鑽に一層の努力を致します。

どうぞ今後とも倍旧のお引立てと、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

【会社業績】

〔株式会社富田製作所〕

16,000トン油圧プレスによる極厚板曲げ加工・製管加工を中心に、多様化する「鉄」の分野で社
会に貢

献するため、鋼材加工に必要とする一通りの設備を備えている。

厚板の切断加工、曲げ加工、機械加工、溶接加工等鋼材加工に必要とする一通りの設備を所有して
いる。

富田製作所つくば工場では東京スカイツリー用鼎柱（かなえばしら）及び東京駅八重洲口グラン
ルーフ

用の梁（はり）の制作。島根県出雲大社の8,8メートル、横幅 12メートル、総重量トンの「勢溜
（せいだ

まり)の大鳥居」も製作に携わった。

【理念】「世界一の信用と信頼のある良質な精神を通じ、社会に奉仕」

東京理科大学理窓会記念講演会（令和元年 9月 22日）の富田英雄氏の原文より

私は、理科大卒業後 10人弱の企業に入社して、横浜刑務所に部品を配送し、ボールペンの組み立てを指導し、群馬県まで納品する営業職でした。刑務所は、地獄だと思っていましたが、何も悪いことをしていない私の方が、寝る時間もなく、囚人の方が幸せに思える仕事でした。

「理学の普及を以て、国運の発展の基礎とする」という理科大の精神は、感じる事ができず、カルチャーショックでしたが、多様性を学び、貴重な経験でした。1年後、父の経営する鉄工所に

入社
し
ち
抵当

し、小さな町工場ですが、「世界一の信用と信頼のある良質な製品を通じ、社会に仕え奉る」とい

理念を掲げ、入社翌年には、「世界一の製品を作るためには、世界一の道具が必要」と、全財産を

に入れ、世界最大級の 1万トンプレスを導入しました。

一家離散覚悟の挑戦でしたが、理科大の「建学の精神」を思い出しました。鍛冶屋職人の技と理科大

で学んだ基礎知識と創造性と開拓者精神を融合させていかなければと、命がけで研究努力してまいりま

した。お陰様で、東京スカイツリーの板厚 10 cmの鼎柱や東京駅のグランルーフの主要構造部材や

羽田空港D滑走路の栈橋杭など社会に貢献できる物づくりを通して、理科大の「建学の精神」の重要性を強く感じました。平成 26年 4月には、さらに世界最大の 16,000トンプレスを導入し、「科学と技術の創造」により、未来社会の発展に挑戦していきたいと強く思っております。